

第2期守谷市まち・ひと・しごと創生総合戦略
(令和6年度改訂版)



令和4年度～8年度



守谷市

第2期守谷市まち・ひと・しごと創生 総合戦略（令和6年度改訂版）

1 基本的な考え方

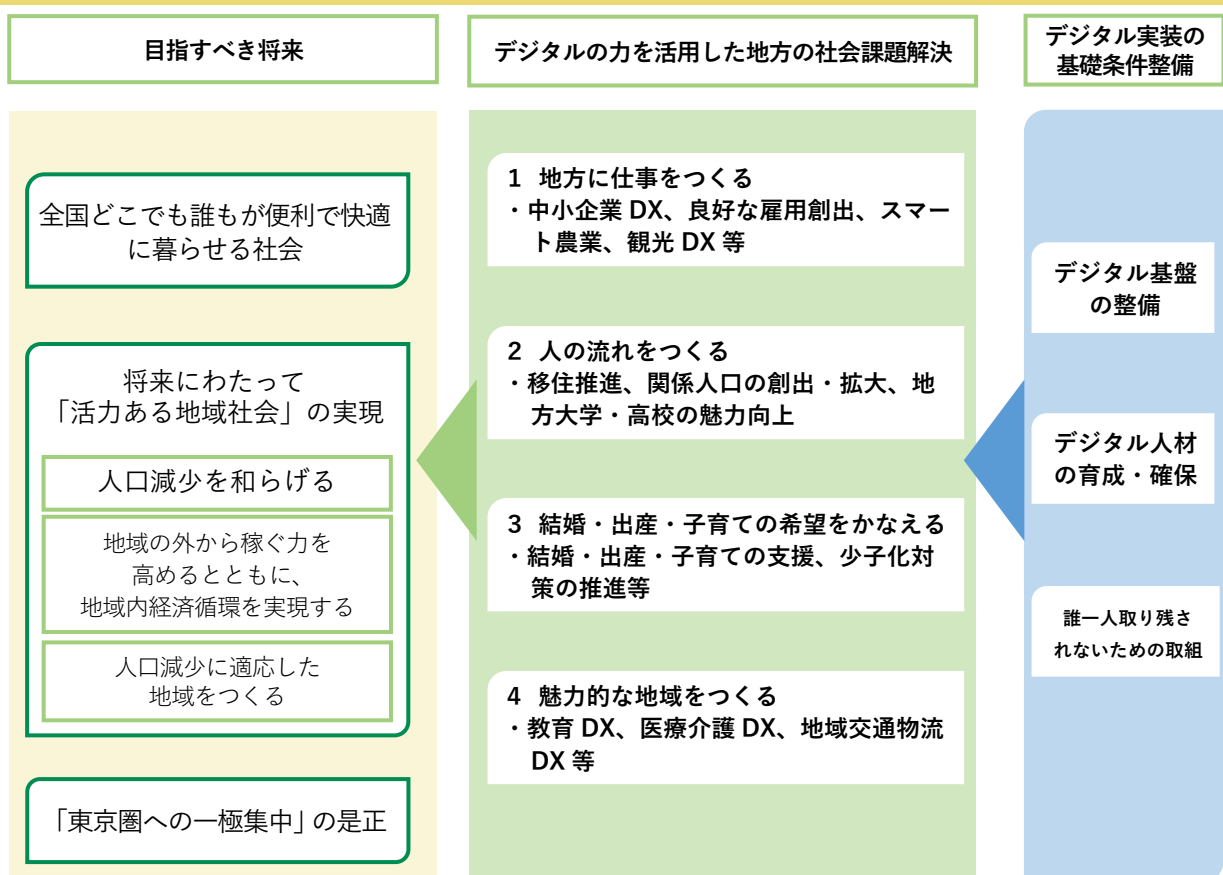
1.1 基本方針

国は、「全国どこでも誰もが便利で快適に暮らせる社会」を目指す「デジタル田園都市国家構想」の実現を図るため、「第2期まち・ひと・しごと創生総合戦略」を抜本的に改訂し、2023年度（令和5年度）を初年度とする5か年の「デジタル田園都市国家構想総合戦略」を新たに策定しました（令和4年12月23日閣議決定）。

本構想は、従来の地方創生に掲げてきた4つの基本目標の流れを継承しつつも、新型コロナウイルス感染症の影響、テレワークの普及など社会情勢の変化を踏まえ、デジタルの力を魅力向上や社会課題の解決に活用することで、地方創生を加速化・深化することを目的としています。

「デジタル田園都市国家構想総合戦略」（2023改訂版）

資料:内閣官房デジタル田園都市国家構想実現会議事務局



本市においても、第2期総合戦略は第1期守谷市まち・ひと・しごと創生総合戦略の方針を踏襲し策定しており、国のデジタル田園都市国家構想総合戦略に掲げられた目標・方針に対応する形で、地域の魅力向上や課題解決に向けてデジタル技術を積極的に活用した効果的な施策を推進します。

1.2 守谷市総合戦略の戦略分野と分野横断的なデジタル技術の活用

人口減少・少子高齢化に起因する、地域を支える様々な場面における担い手不足・後継者不足という地方創生の根源となる課題解決への取組を第一とし、前述した国の総合戦略を踏まえた本市の総合戦略の方針を以下に整理します。

① 出産・子育ての希望をかなえる

妊娠から出産・子育てまでの切れ目のない支援やワーク・ライフ・バランス^{※1}の実現、子育てと仕事が両立できる環境づくりなど、地域のニーズに合った環境づくりを進めることで、若い世代が安心して働き、妊娠・出産・子育てへの希望をかなえることができるまちを目指します。

② 自然の中で活力にあふれ、愛着や誇りが持てるまちをつくる

都心近接でありながら自然豊かな環境を持ち合わせている本市では、引き続きグリーンインフラ^{※2}の推進に取り組み、魅力的な地域を創出していくために、先進的で質の高い教育環境の整備や恵まれた自然環境・様々な文化財、スポーツ資源を活用した個性ある地域づくりを進めます。そして、誰もが住み慣れた地域で安心して安全に暮らし続けることができるよう、先端技術の活用、環境への配慮と再生可能エネルギー^{※3}の積極的な導入等により、愛着や誇りを持つことができる活力にあふれたまちを目指します。

③ 新しいひとの流れをつくる

住み続けたい・住んでみたいまちを実現するために、高い交通利便性と都心近接という立地を生かした、交流人口拡大のための施策を展開し、地域経済の波及効果を高めます。特に、東京ヤクルトスワローズのファーム施設進出や総合公園の整備等、新たなスポーツ資源を活かし、市外人材の呼び込みと地域住民との交流による新たな価値の創造や内発的発展、さらには将来的な移住者の増加にもつながることが期待される関係人口^{※4}の創出・拡大に取り組み、市外人材と多様なつながりを持つまちを目指します。

④ 誰もが安心して働ける環境をつくる

東京圏のベッドタウンとして発展してきた本市の特徴的な魅力を踏まえ、新たな産業の創出と企業の誘導や、地域を支える農業において農産物の高付加価値化・販路拡大等の取組によって地域資源・産業を生かした稼ぐ地域をつくります。そして、雇用機会を創出し、誰もが安心して働くことができるまちを実現していきます。

⑤ 各分野でのデジタル技術の活用・横断的なデジタル基盤の整備

近年、スマートフォンの普及、IoT の進展やネットワークの高速化・大容量化、AI、電子決済、テレワーク、ペーパーレス化など、人々のライフスタイルや働き方は大きく変化しています。市は基礎自治体として、デジタル技術の活用により、こうした変化に迅速に対応して行くことが急務であり、データを収集・蓄積・分析し、市政の意思決定や政策、市民サービスに利活用することで、新時代に適応した行政を目指します。

そのために本市では、「守谷市 DX 推進計画」に基づき、市民一人ひとりに個別最適なサービスを提供するための基本ツールとなる「市公式アプリ Morinfo」のスーパーアプリ化を進めています。また、住民 CRM システム^{※5}との連携を考慮しながら、より効率的・効果的なサービスが提供できるよう、システムの仕様や機能等の検討をします。

これらは本市における DX 推進の基盤であり、従来の地方創生の観点や今後見込まれる人口減少・少子高齢化社会への適応にあたっても重要なツールであることから、スーパーアプリや住民 CRM システムを中核として各分野のデジタル化を推進します。

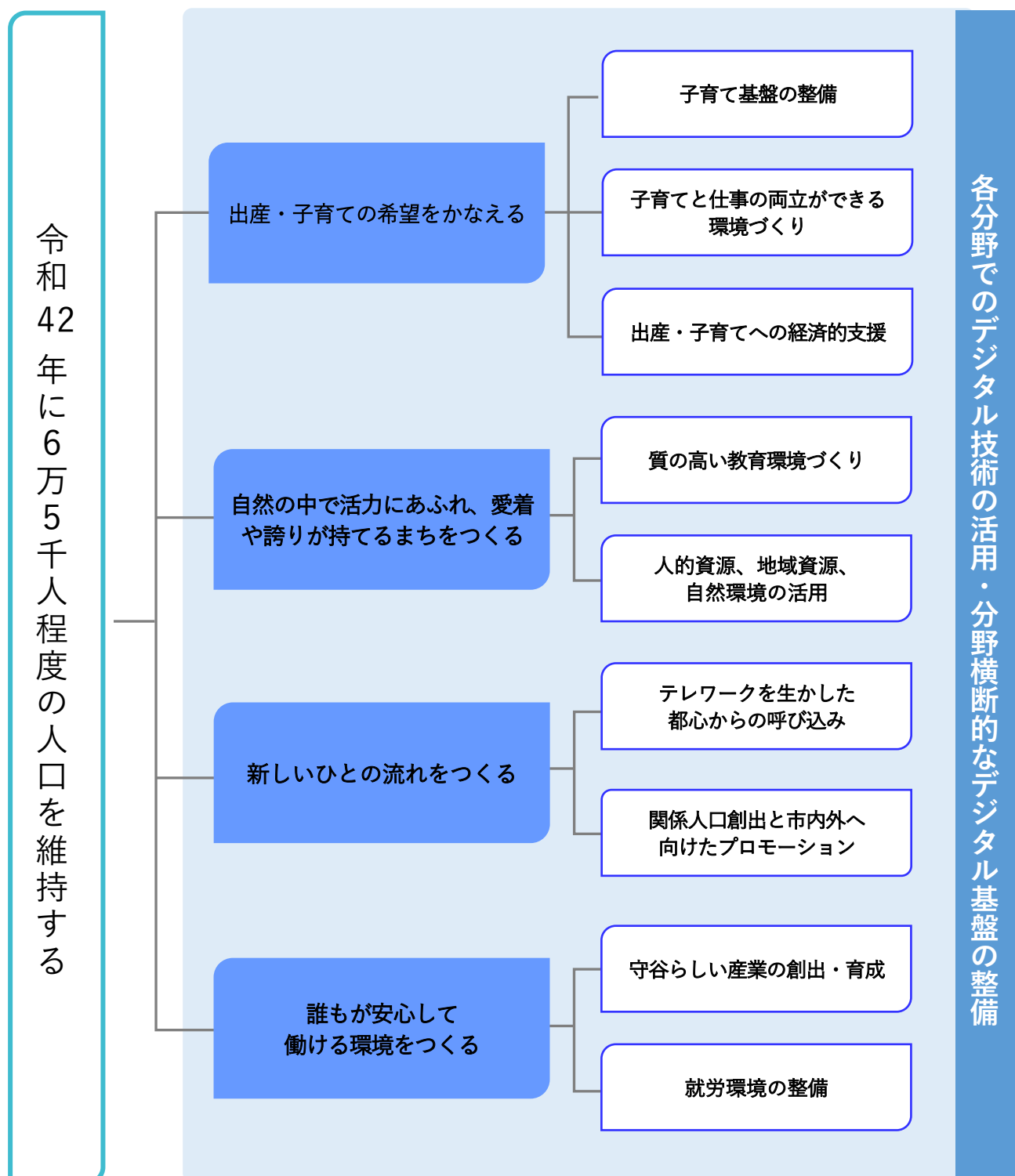
1.3 総合戦略の体系

前述した本市における基本的な考え方を実現し、人口ビジョンで掲げた令和 42 年に 65,000 人程度の人口維持を達成するための総合戦略の体系を整理しました。

人口ビジョン

戦略分野

展開施策



2 展開施策と KPI

戦略分野①

「出産・子育ての希望をかなえる」

出産や子育てに関する希望をかなえられるよう、切れ目のない支援の更なる充実を図り、子どもを産み育てる世代の暮らしの場として選ばれるまちにします。

展開施策-1 子育て基盤の整備

子育ての悩みや不安の軽減など、安心して子育てができる環境づくりに向け、子育てにかかわる情報発信や切れ目のない支援体制の強化・充実を図ります。

成果指標	現状値（令和 2 年度）	目標値（令和 8 年度）
子育て情報コンテンツの登録者数	2,486 人	3,000 人

具体的な取組例

- 子育てに不安を抱える母子や家庭に寄り添い支援できる、切れ目ない包括的体制の強化
- イベント等での世代間交流や子育てナビ^{※6}等による子育てに関する情報発信の充実
- 子育てに係る各種手続き・申請におけるデジタル技術の活用・推進

展開施策-2 子育てと仕事の両立ができる環境づくり

子どもを安心して預けることができる場の確保と提供により、子育てをしながら働きやすい環境づくりを推進します。

成果指標	現状値（令和 2 年度）	目標値（令和 8 年度）
希望する保育所に入れなかった児童数 （認証保育サービス ^{※7} 利用者を除く）	132 人	0 人
特別保育（一時保育、延長保育等）の 延べ利用者数（年間）	44,658 人 （令和元年度※）	57,800 人

※令和 2 年度はコロナ禍の影響で数値が激減したため令和元年度を現状値とする。

具体的な取組例

- 安心できる子どもの居場所の整備
- 多様な保育ニーズへの対応と保育従事者の労働環境改善
- 保育施設等におけるデジタル化の推進

展開施策-3 出産・子育てへの経済的支援

子育てを取り巻く経済的負担の軽減を必要とする人に対して支援することで、妊娠・出産したいと思う人の希望をかなえる環境を整備します。

成果指標	現状値(令和2年度)	目標値(令和8年度)
合計特殊出生率	1.41	1.47
0歳から9歳の子どもがいる世帯の転入数 (松並青葉地区を除く)	250世帯	280世帯

具体的な取組例

- 新たな経済的負担軽減策の推進
- ひとり親家庭に対する生活支援や自立の促進

戦略分野②

「自然の中で活力にあふれ、愛着や誇りが持てるまちをつくる」

都心近接でありながら自然豊かな環境の中で質の高い教育を受けることができる守谷市に住むことに魅力を感じ、愛着や誇りが持てる活力にあふれたまちを目指します。

展開施策-1 質の高い教育環境づくり

守谷市で学び、将来的に多様な分野で活躍のできる人材を育成していくため、新たな時代に対応する学校教育のさらなる充実を図ります。

成果指標	現状値（令和 2 年度）	目標値（令和 8 年度）
将来の夢や目標を持っている児童生徒の割合	80.0%	90%
英検 3 級以上を取得した中学 3 年生の割合	47.9%	60%

具体的な取組例

- ICT^{※8}を活用した多様な教育システムの推進及び安心して通える学校環境の整備
- ALT^{※9}の配置やオンライン英会話の導入、検定試験料補助などの外国語教育の推進

展開施策-2 人的資源、地域資源、自然環境の活用

ボランティア人材バンクの活用や恵まれた自然環境及び様々な文化財など、地域との結びつきや郷土の魅力の保全及び活用を推進し、個性あふれる地域の形成を目指します。

成果指標	現状値（令和 2 年度）	目標値（令和 8 年度）
学校活動に関わった地域ボランティアの延べ人数	—	3,000 人
地域資源（守谷野鳥のみち、守谷駅前イベント等）の入込客数	225,173 人 （令和元年度※）	247,690 人

※令和 2 年度はコロナ禍の影響で数値が激減したため令和元年度を現状値とする。

具体的な取組例

- もりやコミュニティ・スクールボランティアバンク^{※10}の運用による豊富な地域人材の活用
- 歴史文化資源のデジタルアーカイブ化や自然等地域資源を活用したまちづくりの推進
- 市民との協働による身近な緑の保全・充実と活用促進

戦略分野③ 「新しいひとの流れをつくる」

関係人口の拡大を図り、二地域居住や移住・定住をはじめ市外人材と多様なつながりを持つまちを目指します。

展開施策-1 テレワークを生かした都心からの呼び込み

高い交通利便性と都心近接という立地を生かし、テレワーク施設を整備し都心から人を呼び込みます。また、移住先や働く場として、空き家等の活用支援を行います。

成果指標	現状値(令和2年度)	目標値(令和8年度)
東京、埼玉、千葉、神奈川の4都県からの転入者数 (松並青葉地区を除く)	1,355 人	1,500 人

具体的な取組例

- コワーキング^{※11}スペースをきっかけとした移住候補者への働きかけ
- 移住やビジネス拠点の受け皿としての空家バンク^{※12}の活用促進

展開施策-2 関係人口創出と市内外へ向けたプロモーション

地域の住民との交流による新たな力を生み出し、本市の魅力を市内外に向けて分かりやすく効果的に伝え、多様なかかわり方によって多くの人が参画した地域の活力創出を目指します。

成果指標	現状値(令和2年度)	目標値(令和8年度)
自治会加入率	67.0%	72%
市民活動団体数	89 団体	105 団体
守谷市公式 SNS (X、Facebook 等) 総フォロワー数	7,211 人	11,500 人

具体的な取組例

- 自治会やまちづくり協議会など、地域住民同士が情報交換・連携できる場・仕組の創出
- 地域住民が活発的に活動できる支援の充実
- シティプロモーション^{※13}の推進
- 東京ヤクルトスワローズのファーム施設進出及び総合公園整備等スポーツ資源の活用

戦略分野④

「誰もが安心して働ける環境をつくる」

地域資源・産業を生かした稼ぐ地域をつくり、働くことに誇りと幸せを感じることで
できる仕事と雇用機会を創出し、誰もが安心して働くことができるまちを目指します。

展開施策-1 守谷らしい産業の創出・育成

地域経済を牽引する企業の創出に向け、地域経済を支える企業に対し支援を実施し、関
係機関との連携を図りながら持続可能な地域産業を育成します。

成果指標	現状値（令和 2 年度）	目標値（令和 8 年度）
農地の集積率	51.55%	60%
法人の新規登録件数	113 件	120 件

具体的な取組例

- ドローン等を活用したスマート農業^{※14}や6次産業化^{※15}等による持続可能な都市型農業^{※16}の推進
- 土地区画整理事業による新たな産業拠点の創出と企業の誘導

展開施策-2 就労環境の整備

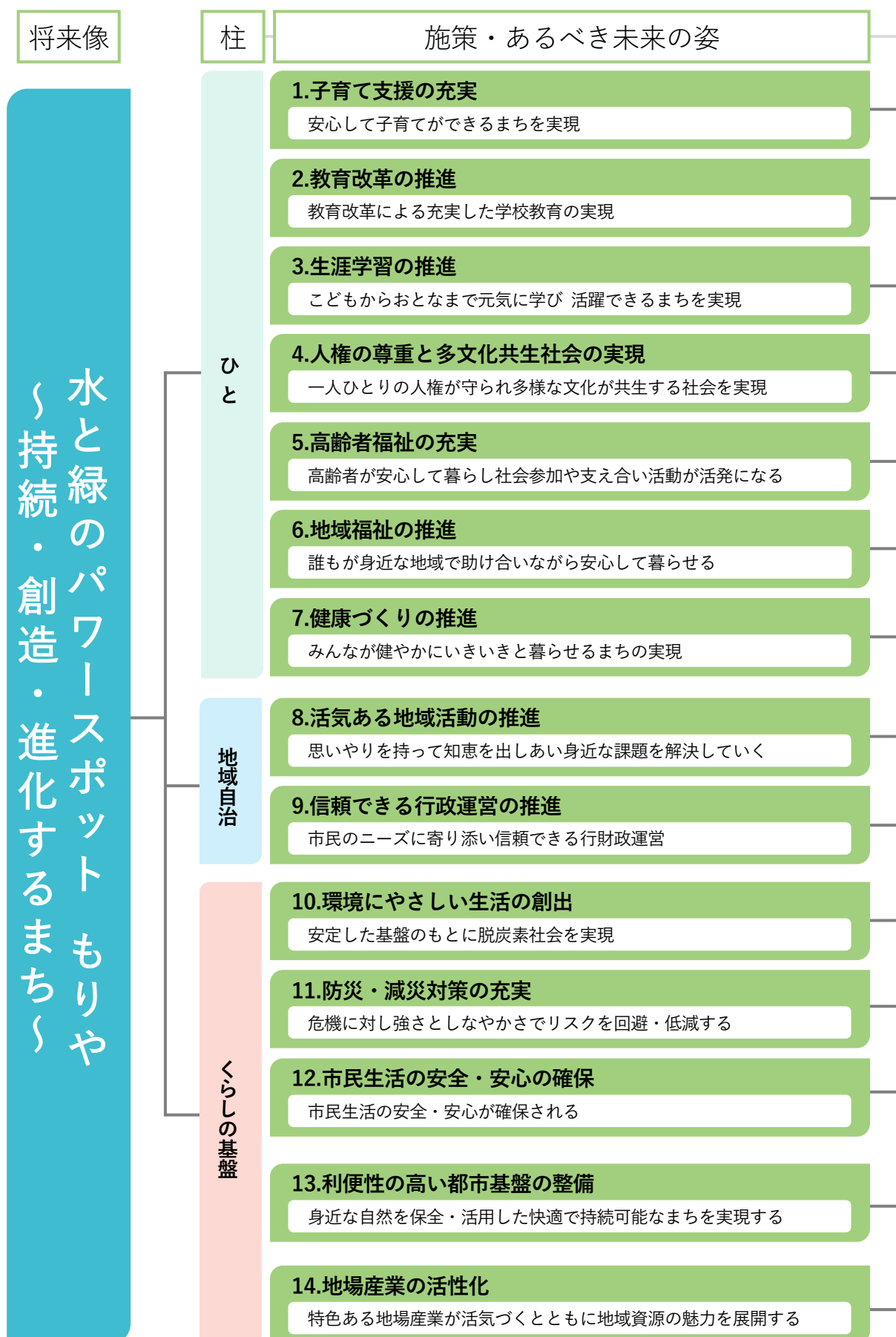
多様な働き方の実現に向け、距離や時間等の制約を克服する ICT の一層の利活用を幅
広い分野で推進し、労働生産性や付加価値の高い就労環境の整備を図ります。

成果指標	現状値（令和 2 年度）	目標値（令和 8 年度）
守谷市内で働く市民の数	— （令和 4 年 7 月公表）	現状値から 3% 増
産業系用途拡大面積（累計）	0 ha	68.5 ha

具体的な取組例

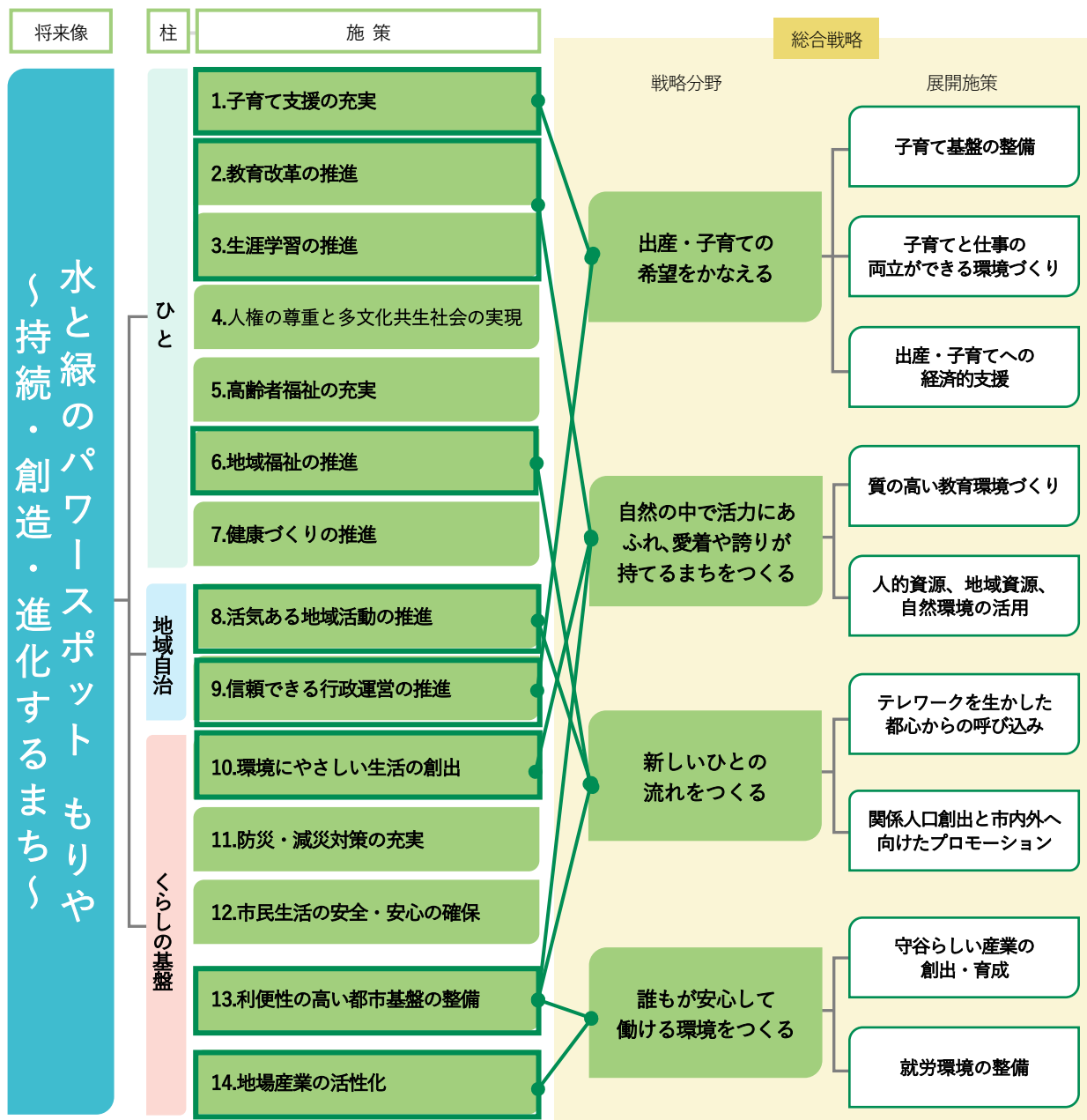
- ICT 活用によるワーク・ライフ・バランスの推進
- 土地区画整理事業による新たな産業拠点の創出と企業の誘導（再掲）

3 総合戦略と基本計画の位置づけ



実現のための取組

1.多様な保育サービスの提供★	2.子育ての経済的負担の軽減★	3.母子保健の充実★
4.安心して遊べる場の提供★	5.子育て不安の解消と交流の場の提供★	
1.確かな学力の育成★	2.豊かな心を育む教育の推進★	3.健康と体力を育む教育の推進★
4.グローバル社会で活躍できる 人材を育成するための教育の推進★	5.地域とともにある学校づくり★	6.学びを支える環境づくり★
1.自主的な学習活動の支援と機会・場の提供★	2.スポーツを楽しむ環境づくり★	3.心の豊かさを育む芸術・文化の振興★
4.歴史・文化資産の継承★		
1.人権尊重意識の向上	2.男女共同参画意識の向上	3.虐待などの人権問題の解消
4.国際交流の推進		
1.生きがいづくりの機会と社会参加の促進	2.高齢者の介護予防の推進	3.高齢者福祉サービスによる支援
4.介護保険制度の健全な運営	5.後期高齢者医療制度の健全な運営	
1.地域福祉活動の活性化	2.地域福祉活動の担い手育成と活動への支援★	3.セーフティネットによる自立支援
4.在宅生活への支援の充実	5.障がい児者の生活の場の確保	6.療育・相談の充実
7.医療費の経済的負担軽減	8.国民健康保険制度の安定運営	
1.健康的な生活習慣の推進	2.食育の推進	3.感染症の予防・拡大防止
4.地域医療体制の確保		
1.地域コミュニティの充実★	2.公益活動の促進★	3.協働のまちづくりの推進★
4.シティプロモーションの推進★	5.広聴・情報公開の充実	
1.計画行政の推進	2.健全な財政運営の推進	3.収納率の向上
4.公有財産の有効活用と適切な管理	5.柔軟で効率的な組織運営	6.適正な人事管理と人材育成
7. ICT(情報技術)の活用★	8.市民の利便性向上	
1.生活公害・産業公害の防止	2.ゼロカーボンシティの推進★	3.環境保全活動の推進
4.ごみの減量化	5.再資源化への取組	6.廃棄物の適正処理
1.市民の防災意識の向上	2.災害時における行政による支援体制の強化	3.避難行動要支援者の避難支援
1.消防体制の強化	2.救命・救急体制の充実	3.市民による防火対策の充実
4.交通安全施設等の整備	5.交通安全意識の向上	6.防犯意識の向上
7.地域で行う防犯活動の推進	8.まちの防犯機能の充実	9.消費者の安全・安心の確保
1.コンパクト・プラス・ネットワークのまちづくり★	2.土地の適切な規制と誘導★	3.空き家対策の推進★
4.美しい都市景観の形成	5.緑地の保全・活用★	6.公園・街路樹等の適正な維持管理
7.水道水の安定供給	8.汚水の安定処理	9.雨水の適正排水
10.健全な上下水道事業の経営	11.道路の適切な維持管理	12.未改良道路の整備
13.都市計画道路の整備		
1.農業の支援★	2.商工業の発展★	3.地域資源の有効的な活用★



4 用語解説

用語一覧（掲載順）

※1 ワーク・ライフ・バランス

仕事と生活の調和。働く全ての方々が、「仕事」と育児や介護、趣味や学習、休養、地域活動といった「仕事以外の生活」との調和をとり、その両方を充実させる働き方・生き方のこと。

※2 グリーンインフラ

自然環境が有する多様な機能を活用し、持続可能で魅力ある都市・地域づくりを進める取組。

※3 再生可能エネルギー

太陽光、風力など、エネルギー源として永続的に利用することができるもの。

※4 関係人口

移住した「定住人口」でもなく、観光に来た「交流人口」でもない、地域と多様に関わる人々を指す言葉。

※5 住民 CRM システム

CRM=Customer Relationship Management（カスタマー・リレーションシップ・マネジメント）の略。日本語では「顧客関係管理」と呼ばれ、顧客情報の管理や顧客とのコミュニケーション管理を一元的に管理すること。

※6 子育てナビ

予防接種や医療機関、市からのお知らせなど、子育てに関する情報を提供するモバイルサービス。

※7 認証保育サービス

認可外保育施設のうち一定の基準を満たした施設を認証保育園として市が独自に認証し、保育料の補助などを行うもの。認可保育所等に入所申込みをしたが入所が不承諾となっている児童が対象となる。

※8 ICT（Information Communication Technology）

情報や通信に関する技術の総称。

※9 ALT（Assistant Language Teacher）

学校で外国語授業の補助を行う外国語指導助手のこと。

※10 もりやコミュニティ・スクールボランティアバンク

優れた知識や技術を有する方や子育てへの協力意欲の高い方が登録し、学校からの依頼に応じてボランティア活動（学校の授業、部活動、行事や環境整備等）を行い、学校を支援する仕組み。

※11 コワーキング

業種の異なる人々が、事務スペースや設備などを共有しながら、それぞれ独立した仕事を行うこと。また、そのような働き方。

※12 空家バンク

空き家・空き店舗の情報発信、マッチングなど、中古住宅市場の流通促進を図る仕組み。

※13 シティプロモーション

地域の魅力をブランド化して内外に発信すること。これにより、まちへの誇りや共感を持つ人を増やし、将来的にまちを支える「担い手」の育成につなげて、持続可能なまち・住みたいと思ってもらえるまちの実現を目指す。

※14 スマート農業

ロボット、AI、IoT など先端技術を活用し、実作業の省力化・高品質生産を実現する新たな農業。農業用ドローン、農機の自動走行など。

※15 6次産業化

1次産業としての農林漁業と、2次産業としての製造業、3次産業としての小売業等の事業との総合的かつ一体的な推進を図り、豊かな地域資源を活用した付加価値を生み出す取組。

人口が集中する大都市で農作物を栽培し、そこに生活する消費者に、鮮度の高いものを輸送費をあまりかけずに届けられる農業。

第2期守谷市まち・ひと・しごと創生総合戦略

改訂年月日 令和6年10月
発行者 茨城県 守谷市
〒302-0198 茨城県守谷市大柏950番地の1
TEL：0297-45-1111（代表）
<https://www.city.moriya.ibaraki.jp/>
編集 市長公室 企画課
